

知財部 殿

1414-0455  
発明開示書

01-6124

U.S. Application Serial No. 10/733,380  
Attorney Docket No. FJ-2003-046-US  
Exhibit 1

作成者: 岡村広紀

職場: 電設SF2

## \* 1. 発明の名称

ファイル上書き時の確認方法

## \* 2. 発明の技術分野

マルチメディアファイルをパソコンで扱う処理に関し、特にファイルをコピーする際の操作性向上を図るものである。

対象関連機種は必ず記載すること (例: SU-350)  
[対象関連機種が無ければ「無し」を○で囲む]

対象関連機種:

無し

## \* 3. 従来技術とその欠点 (他社特許、文献についてはコピー添付)

検索式 (キーワード): ファイル\*上書き\*サムネイル

引用例	番号等	出願人	備考
1	特開平 11-234615	ミノルタ (株)	画像記録システム
2			
3			
4			

(本発明と従来技術の相違)

1の引用例ではファイルを記録媒体に転送する際、ファイル固有のコードを頼りにファイルの同一性を判断し、転送するかスキップするかを決定するものである。

しかしながら、固有コードを持つファイルというのは特別なフォーマットのファイルであり、一般のファイルには固有コードが付加されないため、この発明の用途は限定的である。

## \* 4. 発明が解決しようとする課題

本発明は一般のファイルにも適用できる汎用的な方法であり、ファイルの上書き判断をユーザーに委ねるものの直感的に判断しやすい方法を提供する。

\* 5. 課題を解決するための手段

- 画像ファイルの転送時に転送先に同名のファイルが存在した場合、転送先のファイルのサムネイルと、転送しようとするファイルのサムネイルを画面に並べて表示する。
- 転送元及び転送先のファイルが動画の場合、動画の先頭フレームをアイコン表示する。また、アイコンをクリックすることにより動画の再生を行い、ファイルの内容の確認が行える。
- 転送元及び転送先のファイルが音声の場合、音声マークのアイコン表示表示する。また、アイコンをクリックすることにより音声の再生を行い、ファイルの内容の確認が行える。

\* 6 a. 実施例

以下、デジタルカメラの記録媒体に記録されたファイルを、ファイル管理アプリケーションを使用してPCのHDDに転送する場合を例に説明する。

アプリケーション上でカメラの記録媒体のフォルダを開き、転送したいファイルを選択する。続いて「転送」コマンドを選択すると、ファイルの転送先を選択する画面が現れるので、転送先のフォルダを選択する。

アプリケーションは転送するファイル毎に転送先に同名のファイルが存在するか否かを確認する。存在しない場合はそのまま転送を行う。

存在する場合は上書き確認の画面を表示する。その際、画像のサムネイル表示を行い、ユーザーが上書きしてもよいかの判断材料を与える。

なお、ファイルが動画の場合は先頭フレームをアイコン表示する。また、アイコンをクリックすることにより動画の再生を行い、ファイルの内容の確認が行える。

ファイルが音声の場合は音声マークのアイコン表示表示する。また、アイコンをクリックすることにより音声の再生を行い、ファイルの内容の確認が行える。

6 b. その他の実施例

6 c. 考えられる他の用途

\* 7 a. 発明の効果

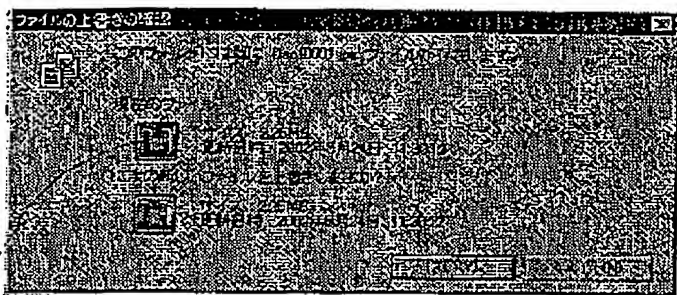
7 b. 発明の予期せざる効果

7 c. 実施例に特有の効果

8 a. 特許請求の範囲

8 b. 特許請求の範囲を規定する各技術的手段に関する段階的記載

## 9. 図面の簡単な説明



**BEST AVAILABLE COPY**

